

■はじめに

何故、産婦人科で心理学を広めたいのか？

毎日、赤ちゃんが犠牲になる事件が多発しています。何故でしょうか？
せつかく痛い思いをして、産んだ我が子なのににもかかわらず、無残にも幼子を虐待して
しまう父親、母親連の増加。

抵抗できない赤ちゃんの気持ちがいわからぬまま親にはけっしてなれません。

だから伝えたいのです。

赤ちゃんは親だけをたよりにして、この世に誕生してくることを。
そして、誕生から3歳までに愛情をたくさん大人からもらえた子どもと、愛に飢えて生
きてきた子どもとは、成人後の人生への影響も随分違うということも。

それに、助けたいのです。

最近のパパママは自分が我慢する事に慣れていない人も多い。

育児がいくら大変であっても、赤ちゃんがずっと泣き続けても、途中で親を諦める事は
けっしてできませんし、逃げられません。つまり、パパやママの心が元気でなければ、

養育は難しく元気な赤ちゃんは育たないのです。

パパ、ママの心のサポートもしたいのです。

○実は、2001年から2004年までに保健センターをおとずれた、

お母さん達にアンケートを実施しました。

その結果、赤ちゃんが泣く事を40パーセントの親が（自分をいじめている）と勘
いしています。

養育者の心が満たされていなければ、赤ちゃんへの対応が不安定で共倒れする可能性
子育ては大変ですが、考え方と時間の使い方、また赤ちゃんとの関わり方で、

かなり楽になるのも事実です。

私達、ワイワイジャパンのメンバーは、できる限り、親の精神状態の不安と
赤ちゃんとの交流の仕方を子育て中のお父さん、お母さんに
やさしく、具体的に伝えていきたいと考えています。

赤ちゃんから3～5歳までに一番関わった大人が、影響力を与える事は実証済みです。
ならば、「生まれてきて良かった」と思える人生を一人一人に歩ませてあげたい。
大人になった時だけれど、この世に生まれて幸せと考えられるように！

私達に子育てを楽しむ方法を伝える時間をください。
また貴クリニックでは、心理学を学ぶ事ができるシステムを
ぜひPRとして、ご活用ください。

かならず妊婦さんの「ため」になります。

日本の未来の担い手の赤ちゃんとその養育者を応援したいと思いま

ねえ！赤ちゃんの気持ち知ってる？

産後カウンセラー・交流分析士 八木祐実よしみ

○月○日(○)
■午後○:○～

自己紹介する時間がないので「ワイワイジャーパン」のパンフレットをくばります。
どんな事でもサポートしますので、ご相談ください。

1. 赤ちゃんは何歳頃なの？

(正確に、どのような言い方で講座を依頼していくのか記しました。
ご参照ください。)

2. どうしてもパパやママに知ってもらいたい事

↓
赤ちゃんは、あなたを選んで生まれて来ます。

3. 早く大きくなーれ！

↓
と思うよりは、「子育て」ってたった○年かもしませんよ！
あーというまに3年立ちます。ゆーっくり、あせらず慣えましょう。
親子で大切なのは何だとと思う？
漢字と文字で考えてみよう。

4. すでに10年たつかも？

そこで、あなたの10年後を考えてみませんか？
子育てで、ゆきづまったら、将来の夢を思うのです。

5. 赤ちゃんに具体的にどう話せばいいの？

◎親が、子どもに伝える事は、「私はあなたを大切に思っている」というメッセージです。

情 情 情 情 情
命の大切さは3歳までにインプットされるらしい

今、日本の皆さんが欲しいものは物ではなく、心の満足だと思います。
食べ物は人の体を育みます。体にとって食物は非常に大切。

特に赤ちゃんの時期の栄養は大事ですよ～
でも、もっと重要なのが心なのです。心は人生をつくりあげます。

毎日の生活が子どもの人生を作ると思っても過言ではありません。
ただ、24時間同じ人と一緒に居るのは、赤ちゃんにとっても苦痛！

↓
ママによっても
→そこで大事ななのは、気持ちよし、自分の趣味、ストレスの解消等
次回は上記内容と、禁止令～親の気持ちか子に影響する等お伝えします。

ねえ！赤ちゃんの気持ち知ってる？

別紙のレジュメを妊婦さんに渡します。

■講座の内容（話す内容を少しお知らせ）

1. 赤ちゃんは何故泣くの？

初めおめでとうございます。身ごもるという事は、何か不思議な感じですよ。皆さんの中で初めての産婦という方、手を挙げてください。ありがとうございます。不安と期待また早く赤ちゃんに会いたいと思っているのではないですか？

でも大丈夫。昔、産んでいるんだから私が出来ないことはない！と思ったらいいです。実は私は4日間も陣痛促進剤で頑張っ、でも息子は元気でしたよ〜と（少し自分の事を自己開示したあとから〜）

初めての赤ちゃんどう接したらいいか？これから3回のシリーズでお伝えしていこうと思います。ではまずは皆さん、座ってください。初めて会うよね。昔、同じ妊婦さんだから親しみを込めて、握手を全員の人としてください。

はい。座ってください。そういえば、最近たくさん赤ちゃんについての本が出てくると思いますが、恐〜こは恐き顔がつくから〜など以前問題にもなりましたが、全く恐き顔など気にせず抱っこしてあげましょう。皆さん、今握手してきてスキャンシップで少し、安心しませんでして？赤ちゃんもこの社会が未知はとでも不安です。それから皆さん、大人だって、誰かに抱っこしてもらいたいって時や眠りことってありませんか？それぐらい人は、スキャンシップが必要なのです。では赤ちゃんて何で泣くんだろう？

「おーい、おし〜こもらしたから、おしめ代えよ〜」とか「ミルクお願ひします。」ともい言えれば泣かないわけです。

例えば、目が開えない人が、音で誰か来たことを知らせる。耳が開かない人が、赤いランプで知らせる。と同じように赤ちゃんは泣く〜知らせると思ってください。

赤ちゃんが「泣く事」がお母さん方に聞くと「いじめている」と思う人も多くて、長い期間泣かれるとママだって困るけど、そんな時は、24時間泣くわけじゃないし〜と思って欲しい。明かないお母はない。顔はいつでも昇ります。皆さんの子育てだって、顔いじ〜ないんだよ〜「子どもができて良かった。〜で良かったさがしをしてみよう。そして、おしめやミルクの時間につただけお願ひしたい事があります。それは、声かけです。最近、「赤ちゃんに話かけても、言葉わからないのに無駄でしょ。」というママがいます。その為サイレントベビー（笑わない赤ちゃん）が存在しています。赤ちゃんはお母さんの声をちゃんと認識していますよ〜そして、話かける事で対話する事でコミュニケーションが喧われ、その子が大きくなった時、何でも親に話せるかどうか、実はこの時期に早、決まっていると、心理学では学びます。かけがえのない命です。同じ子をまた同じようには絶対に、産めません。だからレジュメの2番目〜

上記のように講座を進めていきます。できるだけ妊婦さんの無理のないように、適度に参加型にし、レジュメの4の箇所では自分の実例も考えてもらいます。実は産時や、我慢できずに抵抗できない赤ちゃんを、あやめてしまう傾向は、「その時」だけの事を考えて「泣くのを止めさせたい」と思い、罰を絞めたり、薬を投与するケースが多くあるのです。その事件を少しでも防ぐには、泣いている時に腹をたてるよりも、他の事を少しでもイメージされる事が有効です。その為には、事せず実感を確かめ、泣くシーンなんて人生においてたった一瞬なのに、最近悩めると自分の目の前から、なくせば、全てリセットでできると考えています。（そうじゃない）妊婦さんには以上からの物言いでではなく、同じ目線で（昔でがんばろうね〜）という雰囲気でも何でも話し合える状態で講座を進行していきます。

■ ④時間 会場 料金設定について

☆時間

参加者の皆さんの身体の負担を考えて、1回の講座は1時間弱が適当です。

ベストなのは、午前中の11時～12時にして、参加者さん同士の友達を作れるように、講座後は親しくなった人どうしがランチになど、行ければ今後も、助け合いながら子育てが楽しめる事でしょう。

3回講座を続けて開催すれば、楽しみしりになり、友達も作りやすいと思います。

- 例 1回目 赤ちゃんの心理
2回目 育て方によってかなり変わる子どもの得意
3回目 お母さんと赤ちゃんとの付き合い方 例い例 悪い例 等

毎回1時間で3日間で終了 受講生のターゲットは妊婦さんなら、どなたでもOK

☆会場

食テリニクで、話のできる場所など、よければお借りできますか？
ないようならば、足が伸ばせる会場をこちらで用意いたしますが、その場合、食テリニクにて、案内チラシを事前にくばらせていただきます。

☆料金設定

1時間 資料代金込みでお一人 500円
ただし、会場を借りる場合は、会場費がかかる為、1時間1000円になります。

また悩みや育児ノイローゼなど、当社は専任カウンセラーがおりますので、子育てについて、どんな事でもご相談頂くことが、可能です。ご安心ください。

赤ちゃんに親が優しく接する事ができなければ、優しい子どもには成長しません。せっかく、日本の強い手をこの例に送り出すのですから、一人一人が自信を持ち、自分の人生が誇かったと言えるよう、皆で幸せになりましょう。

■ ⑤をわつりに

コンコン、朝の放輪りが終わり、次の朝響の家庭に訪を仲介した。不承心にも腹は、かけておらず、初顔見は、ちょこんと椅子に腰掛け朝こ腹を持って居る様子。赤ちゃんは声が続れるほど泣き叫んでいた。よその家庭をからま見る一瞬。

「はーい、すぐ行きます。」空真先の私には愛想をふりまく母親が、わが手には、腹を立てている。「朝から泣き叫んでうるさいわね。」どうすれば、産物を無断に放げるのか？よりも、どうしたら子どもの前でも優しい女性で居られるのか？の方が課題かもしれない。

産物が起きたあとに対面や対話を其つけるのではなく
「虐待など起こすはずがない」母親の心の安定をはかれば、良い。その為にも、産婦人科で心理学を広めたいと思う。泣く事しかできない赤ちゃんの気持ちだが、少しでも大人に伝われば一救治療を批判する訳ではないが、改革はハードではなくソフトが今、早急に必要に思う。だれかが例かをするのを待つのではなく、国民が民間が、市民が町内が、わが国を救おう。

泣る止まない赤ちゃんの声は、自転車で走り出そうとする私の後ろ髪を、ひっぱって泣きさなかった。